

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		障がい児通所支援センターふれあいキッズ		公表日 令和8年2月12日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	定められた定員に基づいて受け入れをしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0%	100%	法令上定められた人数で運営している。	急病や看護のための急な休暇への対応が難しくなっている。適宜非常勤の児童指導員を配置できるよう体制を整える必要がある。利用児の成長と共に法令の人数では目が行き届かない事も発生しているため、利用人数に合わせた余剰の人員配置が必要になってきている。
	3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	特性に応じてクラス分けをする、伝わりにくいことは写真等で伝えるようにしている。	建物の構造の部分で、バリアフリーではない部分がある。スロープを設置する等対応する予定。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	75%	25%	毎日の清掃や消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	50%	50%	明確な部屋はないが、衝立で仕切る等の工夫をし、個別の場所を設けている。	クールダウンやその他活動にも使える部屋が必要になってきているので今後検討する。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	毎日のミーティングや支援会議等のできる限り多くの職員に参加してもらい、意見を交換している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	評価結果を会議等で共有し改善できるところについて意見を交わしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	日々のミーティングや会議等で改善できるところがあれば随時反映している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	第三者による外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	75%	25%	定められた研修は年間のスケジュールに則って行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	適切に支援プログラムを作成し、HPにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	個別の支援会議を行い、計画を立てている。	
	13	管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	75%	25%	できるだけ支援に関わる職員全体の参加を求め、会議を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	計画に基づいた支援内容が職員に伝わるよう、伝達の機会を設けている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%	アセスメント結果の比較ができるよう、保護者との面談の聞き取り等から同じツールでアセスメントをとるようにしている。日々の行動観察については記録を残し、振り返りができるようにしている。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	75%	25%	必要な項目を適正に設定している。各こどもに合わせた支援内容になるよう設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	75%	25%	朝のミーティングの際に、月間、週、当日の活動に向けて話し合う機会を設けている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	季節ごとの行事や制作活動等、行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	個別支援計画書に則って個別の自立課題を行う時間を設ける等行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%	打ち合わせを適宜行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	当日又は翌日の朝に、振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	個別の記録を残し、支援会議の際振り返りながら検証を行っている。	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定められたモニタリングを適宜行っている。場合によっては見直しのための面談を行えるよう体制を整えている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	75%	25%	「地域交流」に難しさはあるが、公共の施設等を利用する機会を設ける等している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	75%	25%	どちらか選ぶ、居場所を自分で決める等、選択に幅を設け、自己決定の力が伸びるよう支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	相談員にも参加してもらう等、出来る限り関係機関との連携を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	連携の要請があれば随時参加できるよう体制を整えている。今年度に関してはまだケース会議等の機会がない。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校との情報共有は下校時の申し送りで行っている。保護者からも情報をもらえるよう体制をとっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	利用児の成長に伴い、未就学の時期の機関との連携が現状として必要とされていない。新規利用児童受け入れ等の機会があれば随時行う予定。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%	情報提供を求められた際はその都度応じる予定。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%	現状として連携の機会がない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	今現在は機会がない。公共の施設等の利用に際して、接する機会はあるが交流とは言えない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	求められれば参加している。積極的とは言えない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	75%	25%	送迎時や連絡帳、または随時電話等での情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	ペアレントトレーニングを行うことのできる人員を配置していない。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリングの機会等を元に、意向の確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	適説明をしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	その都度、相談に応じて対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	組織としての保護者会はない。保護者にお集まりいただく機会を設けたり、保護者や兄弟児の参加できる行事を行うなどしている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	適宜体制を整え対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	情報発信の媒体が限られている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	75%	25%	鍵のかかるキャビネットを使用するなど適宜使用している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	伝わりにくい情報は写真や絵を使うなど、適宜配慮している。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	地域の住民ではないが、外部の人をお招きする機会や一緒に畑仕事を行う等機会を設けている。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	50%	50%	各マニュアルに基づき、研修及び訓練を今後も適宜行う。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	適宜訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	適宜確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	50%	50%	食物アレルギーのある利用児はいるが、現状医師からの指示書はもらっていない。保護者からの指示に基づいて対応している。	対象となる利用児がおやつ提供のみで利用日数も少ないことから、現状の対応を行っているが、今後の状況の変化によっては指示書をいただく事も検討している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	改めて安全計画の見直しを行い、今後訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75%	25%	周知の部分で不足があるかもしれないが、その都度保護者との連携を取っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	75%	25%	適宜情報を共有し再発防止に向けて取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	75%	25%	虐待防止の研修の機会を確保している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	75%	25%	現状として身体拘束が必要となる利用児がいないが、今後予見される利用児についてはその都度保護者との面談の機会を設け、検討していく。	